

あがまち

議会だより



かみかわ物産直売所(大感謝祭)

No. 6
2006.11

発行：阿賀町議会 ☎0245-92-3112
新潟県東蒲原郡阿賀町津川580番地
発行責任者：議長 広瀬茂雄

主な内容

17年度決算	2~3P
委員会報告	4~5P
行政報告・9月定例会	6~7P
一般質問 10議員	8~17P
区長の意見・提言	18P
特集(伝統・文化・史跡) 鹿瀬・上川	19P

※古紙配合率100%の再生紙を使用しています。

奥阿賀観光、上川温泉、ホテルみかわを統合か!!



阿賀の里軽食コーナー

合併から1年半が経過し、昨年度は、旧4町村別の打切り決算、本年度は、旧4町村持寄り予算に対しての決算、旧4町村の施策の違いが、随所にかいまみられた決算が続いた。本年度より町独自の予算旧町村時代とは、補助金等の違いが目立った。

この2回の決算を糧とし、

合併から1年半が経過し、昨年度は、旧4町村別の打切り決算、本年度は、旧4町村持寄り予算に対しての決算、旧4町村の施策の違いが、随所にかいまみられた決算が続いた。本年度より町独自の予算旧町村時代とは、補助金等の違いが目立った。

この2回の決算を糧とし、

◎訂正とお詫び

○第5号で3Pのセクター公社、当期利益の表誤、川上温泉
正、上川温泉

○第5号、2P一般会計補正6行目
・駐車場改修工事費
誤、2、248万9、000円
正、1、300万円
と訂正をお願いします。

請願及び陳情

- ◎道路特定財源に関する意見書
(道路財源は、その用途については、あくまでも道路に関する事業にあてるよう要望)
提出議員 宮澤 勝見
採択
- ◎公立高校と私立高校の学費と教育条件の格差解消をめざし、私学助成の増額を求める意見書
提出議員 五十嵐隆朗
採択
- ◎トンネルじん肺根絶の根本的対策を求める意見書
提出議員 渡部 英夫
採択
- ◎集配局の廃止再編計画に反対する意見書
提出議員 宮川 弘懿
採択



観光の一躍となれ、つる細工(上川)

編集室より

実りの秋、食欲の秋であるが、山を住いとしている、熊にとっては厳しい秋のようだが各地で異常な程、熊の出没が確認されている。

餌となる、どんぐりなどの木の実が不作との事、冬を控えて体力を養う時期、恐いはずの人里に現れ、農作物や果実に被害を与えている。

以前とは違い、山林と人との関りが薄れ、手入れが届かず、山林の荒廃が進んでいる中、地球温暖化などによる、自然界の変化が、動、植物に容赦なく襲いかかっている感がある。(山口)

編集委員会

議長 広瀬 茂雄
委員長 山口 周一
副委員長 宮川 弘懿
委員 山田 英夫
委員 猪俣 誠一
委員 土屋 勝則

(単位：千円)

歳入				
1	町税	1,465,208	8.27%	自主財源
2	地方譲与税	230,622	1.30%	依存財源
3	利子割交付金	5,273	0.03%	"
4	配当割交付金	2,335	0.01%	"
5	株式等譲渡所得交付金	2,879	0.02%	"
6	地方消費税交付金	139,557	0.79%	"
7	ゴルフ場利用税交付金	26,095	0.15%	"
8	自動車取得税交付金	55,264	0.31%	"
9	地方特例交付金	24,747	0.14%	"
10	地方交付税	6,881,738	38.84%	"
11	交通安全対策特別交付金	2,970	0.02%	"
12	分担金及び負担金	145,000	0.82%	自主財源
13	使用料及び手数料	150,200	0.85%	"
14	国庫支出金	857,659	4.84%	依存財源
15	県支出金	1,993,137	11.25%	"
16	財産収入	63,864	0.36%	自主財源
17	寄付金	4,374	0.02%	"
18	繰入金	554,038	3.13%	"
19	繰越金	0	0%	"
20	諸収入	1,703,532	9.61%	"
21	町債	3,409,900	19.24%	依存財源
歳入合計		17,718,392	100.0%	

〔歳入〕
歳入は町税や財産収入等の自主財源が23.1%、地方交付税町債や国庫及び県支出金等の依存財源76.9%を占め、依存財源が前年度比5.2%増加した。

(単位：千円)

歳出				
1	議会費	94,152	0.56%	12位
2	総務費	2,514,915	14.80%	3 "
3	民生費	1,895,267	11.15%	4 "
4	衛生費	1,053,945	6.20%	8 "
5	労働費	28,649	0.17%	13 "
6	農林水産業費	1,215,068	7.15%	7 "
7	商工費	367,300	2.16%	11 "
8	土木費	2,654,824	15.63%	2 "
9	消防費	536,886	3.16%	10 "
10	教育費	1,445,034	8.51%	6 "
11	災害復旧費	744,634	4.38%	9 "
12	公債費	2,693,118	15.85%	1 "
13	諸支出金	1,746,552	10.28%	5 "
14	予備費	0	0%	
歳出合計		16,990,344	100.0%	

〔歳出〕
歳出を目的別に見ると借金である町債の償還に充てた公債費が15.9%で最も多く、次いで土木費の15.6%、総務費14.8%、民生費11.2%、旧町村借入金返済金の諸支出金10.3%の順となっており、主要産業である農林水産業費が7.2%と低くなっている。

平成17年度一般会計の決算額は歳入総額177億1,839万円、不能欠損額846万円、収入未済額7億9,990万円、歳出総額169億9,034万円、翌年度繰越額8億4,012万円となった。

介護保険事業（保険勘定）

下水道事業

国民健康保険事業 19億4,521万円
老人保険事業 25億2,468万円

診療所 2億2,729万円
簡易水道事業 13億4,811万円

町営スキー場事業 1億2,718万円
水道事業（企業会計） 2億5,134万円

平成17年度一般会計の概要

特別会計の概要

介護保険事業（サービス勘定） 16億3,523万円
1、995万円

工場団地造成事業 21億6,025万円
1、411万円

歳出総額

169億9,000万円 認定!!

平成18年9月13日に召集された第3回定例会は22日までの10日間の会期で開催され、平成17年度の決算認定、条例制定1件、条例改正2件、一般会計補正予算、特別会計補正予算6件、特別委員会委員長報告8件、人権擁護委員の任命、意見書3件、請願1件が提案された。決算の認定については、特別委員会を設置し慎重に審議の結果全会一致で認定された。



供用開始間近の上水道施設（津川上水道）

決算審査 特別委員会報告

委員長 猪俣 誠一

特別委員会に付託された案件は、17年度各会計決算11件、および付属書類4件です。

審議の中では、奥阿賀振興協議会が消滅せず存続していたことや、委託契約が町の積算資料によらず、業者見積りを参考にしている点、さらに同一業者が継続して委託されている等、契約形態への指摘を含め各会計に今後の改善を含めた多くの指摘が出された。

歳入に関しては、税の徴収に問題があった事をうけ活発な審議が行なわれた。付託された各会計決算に関しては、慎重なる審査の結果全会一致で認定するものとした。

総務文教

委員長 猪 俣 誠 一

”人員配置増員が急務“

町消防署の運営状況調査を7月24日に実施した。消防本部および分遣所の施設整備の状況人員配置を含む運営の状況等を各施設で調査した。現況

職員48名で、日勤者3名を除き3班に分け、24時間勤務の3部制で運営している。人員配置の不足により日出谷・上川分遣所は夜間ひとり勤務となつている。また昨年の年休消化は2.9日であり、休む時には替りの人をお願いしてから、休むような状況である。

本署は施設が手狭なうえ、老朽化が著しく、雨漏りや鉄骨部(通信室)に歪が見られる。

職給に関しては、職責に応じた職級になるよう、次年度改正に向け協議中である。



手狭なうえに老朽化がはげしい消防本部

委員会の見解

職員の健康管理や事務事業の適切な遂行のため、人員配置の増員(63人体制)が急務である。

本署の老朽化に関しては、新設を含め、早急なる改善を図るべきであり、その他不備な施設(水利や道路網を含む)も早急に改善を図れ。

AED(体外式除細動器)等は全公共施設に設置し、住民に対しても講習すべきである。

委員会報告

社会厚生

委員長 星 公 司

閉会中の所管事務調査を8月18日に実施したので、その概要を報告する。

- (1) 保育園の施設現況
- ブランコ周辺の防護柵(日出谷)や、避難路の扉(とこなみ)、園児用トイレの増設その他、指摘事項については安全・安心等のため改善対策を求めます。
- (2) 子育て支援
- 第1子からの祝金より、保育料の減免が少子・高齢化対策として良いのではないかと。

○第2子以降の減免が、子育て支援対策になると考える。

(3) 2月2日社会厚生委員会の指摘事項と改善点

Q 通園道路が狭く、消雪パイプの機能が不十分である(もみじ・とこなみ保育園)

A 建設課と調整し、通園道路の確保も要請した。

Q 避難路の一部が、急勾配の滑り台であるのと、屋根からの落雪で危険である(わかば保育園)

A 安全・機能確保のため136万5,000円を



老朽化しているもみじ保育園

9月補正予算要求で考えている。Q 避難訓練および、不審者の侵入に対する防犯訓練が不十分である(全保育園)

A 全保育園で年間計画表を作成し実施している。

まとめ

保育園管理・運営にあたって、少子・高齢化対策・子育て支援の一環として、保育料の減免を含めた指摘事項の改善を要望する。

産業建設

委員長 高 橋 渡

期日 平成18年7月18日(火)

上川・津川地区の現況調査

①産業課

○丸渕わらび園

期間中2,000名を超える入園者、都市住民との交流の場となっている。○七福荘、ペレットボイラー

ストープ本体並びにペレット共に単価が高く民間普及には今しばらくの時間が必要。

②土工観光課

○広沢頭首工(県営事業)

現頭首工は堰本体及び土砂吐ゲートを改修する。本年度は調査設計業務のみ。

③企業課

○南部地区簡易水道施設老朽化が著しく、漏水などが頻繁に発生し、本年度より工事着手。



南部地区簡易水道施設

3セク特別

委員長 宮 澤 勝 見

6月定例会に附託案件と合わせて、通常の特別委員会調査を、8月22日、28日の2日間実施した。全委員の出席、町長以下執行部、各会社の実務者が参考人として出席した。

1つ目は町参与の位置づけ

2つ目は財務諸表および会社の沿革、経営についてです。今回の調査の目的は各委員から、現在ある公社、セクター等の内容を把握、認識して頂き、挙げて経営者側と行政側、住民の代表である議会の三者が、一体となって英知を共有し、町の財政を圧迫しない経営、町に活力を生み出す経営の礎として頂き、より良いものを目指すことを捉えて設定致しました。

質疑の中で所々に民法、商法が制約し、制限があり不完全燃焼の感もありましたが、各委員が公社、セクター等の行く末を案じての発言、提言は行政側と会社側に大きな叱咤激励になったものと確信を致しました。町参与の位置づけに関しては町長



津川温泉(奥阿賀観光)

より来年度から「奥阿賀観光株」「株上川温泉」「株ホテル三川」を合併し、新会社が軌道に乗れば、その時点で町の観光誘客を図る常勤の参与にしたい旨の答弁がありました。

次にセクター等の沿革および経営安定と方策についての内容につきましては追って集約し、委員各位に配布致しますので、ご理解頂きたいと存じます。

最後に猛暑の中かつご多忙の中、本委員会にご協力頂きました参考人各位に対し厚くお礼を申し上げ、特別委員会報告と致します。

2006年 9月定例会

一般会計予算

6億3,874万円増

上水道事業 2億5,780万円 合併特例債を充当

18年度一般会計ほか、6つの特別会計補正議案が上程され原案どおり可決しました。



林道西山・日光寺線（雲和田）

18年度補正 主な歳入(収入)	県支出金	139、751千円
	災害復旧費補助金	
主な歳出(支出)	水道事業特別会計繰出金	257、800千円
	災害復旧費（農林水産）	224、122千円
	災害復旧費（公共土木）	88、936千円
	承認2件	
	町道鹿瀬当麻線改良舗装工事	契約額 52、290千円
	町道川口岩谷線改良工事	契約額 89、369千円
	変更増額	7、469千円
	契約者（株）巴山組	
	条例一部改正	
	公共用財産管理条例	
国民健康保険条例		
条例制定		
訪問看護ステーション設置条例		
位置	阿賀町向鹿瀬1154	

自治功労者表彰5名

平成18年度永年在職町村議会議員に対する表彰が新潟県町村議会議長会長より受賞されました。おめでとうございます。

猪俣誠一議員、高橋 渡議員、石川太一議員、石田守家議員、五十嵐隆朗議員

人権擁護委員の推薦

平成18年9月22日の議会において推薦され同意されました。

住所 東蒲原郡阿賀町釣浜4932番地
氏名 佐藤 勲
生年月日 昭和15年10月28日

町長の主な行政報告

指定管理者制度

指定管理者制度移行に係る施設は、福祉施設、温泉施設、観光施設など合せて87施設で63団体等の指定管理者とそれぞれ9月1日付けで管理運営に関する基本協定を締結しスタートした。

有料老人ホーム、グループホームの建設の進捗状況

日本メデイカルパートナーズが進めております仮称「上川の里」は、県から事業着工の許可があり、9月から本格的な建設工事に着手し、平成19



ゴミ焼却施設（上川）

年6月から事業開始ができる見込みとなりました。大形福祉会のグループホームについては、今年度10月から工事に着手し、平成19年度3月中旬から事業開始の見込みです。

「阿賀町滞納金徴収対策推進本部」の立ち上げ

構成員は、助役を本部長、関係課の課長及び担当者。町税等の滞納金の情報交換や共同徴収など各課の連携を緊密にし、収納率の向上を目指す。



滞納金の徴収徹底を!!

会場で説明会を開催したところ延べ1、746人が出席し、町全体の32・8%でありました。主な意見としては、高齢者世帯

ケーブルテレビの必要性を実感

ケーブルテレビの現段階での事業内容を町民の皆さんに理解していただくため、町内120の全集落を対象に98

定住推進事業

8月1日より空き家等の登録制度を制定し、東京会の会員に約930通のアンケート調査を実施し、ニーズを探るとともに、移住を考えている方と緊密な連絡をとってゆく。

平成21年度新潟県体のボート競技開催地として

現在開催されている国体開催地の現場視察をするなど、ノウハウの収集に努めているところです。ハード面では、会場周辺の条件整備を図り、8月10日に設計業務委託を締結し、現在実施設計に入っております。

「阿賀町定員適正化計画」及び「阿賀町集中改革プラン」を策定作業終了

専門委員会および行政改革推進本部の審議を経まして、このほど策定したところです。町民サービスの低下を招くことなく、明快で効率的な行政組織を確立するため、両計画を機軸に据え、これに即しながら事務事業の見直しなどをはじめとして、多角的行政変革に務めて参る所存であります。



参与は業務規定どおり 職務に専念しているか！

渡部英夫 議員

参与の職務は第三セクター等の管理運営等の改善に関する事項の調査、検討の報告を頂くことにしていますが、スムーズな運営には入り込み客を増やして売り上げアップを図ることが急務であり、参与には町観光の全体の誘客活動

既、整備すべき情報の通信基盤の伝送は光ファイバーで構成されるF-TTH方式を選択することです。さて、今回の事業導入計画は、職員の専門的技術と高度な能力が必要、本事業の放送センターは町全域を対象とし各3支所にサブセンターを設置、放送センターから自主番組を作成、送信等することです。町の現状、住民生活の実態本事業の取組みはケーブルテレビ、防災、一般のオフトーク等の情報通信のみで充分と考えますが答弁を求めます。

三セク経営陣と経営改善協議いまだなし

【質問】

参与は条例および業務規定どおり職務に専念しているのか甚だ疑問です。先の公社・セクター等経営に関する特別委員会において、セクター経営陣との経営改善に対する協議不足が指摘されたが、就任から6か月を迎えた現在に至っても具体的な協議が行なわれていないことが判明した。このようなことでは信頼して職務をお願いすることはできないのではないのでしょうか。この際、奥阿賀観光株式会社社長職に専念させ、参与を辞することが町にとって有益ではないか。

【町長】

参与の職務は第三セクター等の管理運営等の改善に関する事項の調査、検討の報告を頂くことにしていますが、スムーズな運営には入り込み客を増やして売り上げアップを図ることが急務であり、参与には町観光の全体の誘客活動



株阿賀の里 全景

健康で安全に暮らせるまちの理念が石戸区で脅かされつつあります。石戸集落の上流700m付近で土砂採取申請があがっています。土砂採取予定地は平成10年8・4水害

安心して暮らせる まちづくりは万全か

【質問】

組織上の所属は商工観光課との連絡、調整が重要なことから商工観光課にデスクを配置しています。職務権限は町長の権限行使を補助する非常勤の専門委員であり、みずから意思決定する権限はありません。

参与は行政組織上どこに所属しているのか。職階上はどの程度の職務権限を与えられているのか。このことは重要な問題であり、方向性によって町の重要施策である観光行政が二元行政になるおそれが考えられます。

参与は行政組織上 どこに所属しているのか

【質問】

時、裏山の宝珠山観測所で1時間当たり97mmもの集中豪雨を記録したところです。土砂採取期間中に同程度の豪雨に遭遇すれば、土石流となって下流の石戸集落へ襲いかかる危険があり、採取した土砂の搬出は狭い町道をダンプトラックが走行し非常に危険です。石戸区住民の命にかかわる危険極まりない土砂採取に、区民は反対署名活動を展開し圧倒的多数の住民が反対しています。区民の切なる要望にお力添えをお願いしたい。

【町長】

許可権者の県振興事務所へ出向き地元民の切なる願いを説明した。県としては申請書が法律に基づき適正であれば許可せざるを得ないので9月11日付けで許可した。条件として区、業者、振興事務所、町の4者間で協定書を締結後に作業着手するよう指導したい旨聞いている。協定内容を無視しての行為に対しては、即認可の停止、休止、取り消しの措置をもって対応すべく協議中であります。



ケーブルテレビ施設整備 管理と取り組みは

石田守家 議員

自主放送は不用

【質問】

既に、整備すべき情報の通信基盤の伝送は光ファイバーで構成されるF-TTH方式を選択することです。さて、今回の事業導入計画は、職員の専門的技術と高度な能力が必要、本事業の放送センターは町全域を対象とし各3支所にサブセンターを設置、放送センターから自主番組を作成、送信等することです。町の現状、住民生活の実態本事業の取組みはケーブルテレビ、防災、一般のオフトーク等の情報通信のみで充分と考えますが答弁を求めます。

都市部との情報格差是正、若者の定住対策、教育環境、福祉対策など導入すべき事業と考えています。自主放送を除外した必要最小限の情報提供で良いのではとの質問ですが、自主放送をテレビ画面で見、新しい地域づくりの起爆剤となり、町民と行政が一体となった町づくりを進めることができると思っています。

廃校舎の利活用を

【質問】

町全体は生徒数の減少道路網の発展、学校教育、学力向上など、さまざまな観点から整理統合されています。地域の伝統的公共施設が消えた学校校舎等は活かされているのか、大半が鉄筋コンクリート建築、野ざらし管理、地域の存在感もなく、今日ではアスベスト問題と重なり、除去作業は危険を抱えています。来春には神谷分校も閉校致します。再利用の計画と地域振興に役立つ工夫を願うものです。

有効活用を図る

【町長】

廃校舎の利活用は適当か、三川地区では分校含め4校舎あり、一部地域住民の交流、スポーツ活動の拠点として利用しています。そのほか未利用施設が相当あり、除却も含め検討して参ります。空き校舎、校舎の利活用について、郷土資料館、宿泊施設を伴う林間交流センター、生涯学習センター機能を有した各種教室の開催、地域交流等幅広く有効活用を図って参りたいと思っております。



自主放送施設（富山県旧八尾町）





指定管理と集落会館

宮澤 勝見 議員

町民主体の公民館へ 根本的な見直しを図れ



地域の公民館活動を 積極的に支援せよ

遠藤 信也 議員

質問

現代社会において、家庭内や地域社会でのコミュニケーションの不足や、人と人とのつながりが希薄になっていくことなどから、人を思いやる心が欠如し、それが起因していると思われる事件が、連日のように報道されており、心痛む思いであります。

今こそ、家庭内は勿論のこと、地域社会におけるコミュニケーション活動の必要、重要性が叫ばれている時であります。しかし、当町における公民館活動の実態は、官主導の事業が多く、地域の活動が欠落し、組織上でも問題があると思えます。本来、町民が主体

となつた活動を推進し、町がそれを支援、サポートしていく体制づくりを進めていくことが大切だと思います。それぞれの地域が活動意欲を高め、活性化されるよう、根本的な見直しをするべきと考えるがどうか。

社会教育活動を 積極的に推進

町長

殺伐とした事件の背景、ご指摘のとおりだと思います。町も社会教育に向け、生涯学習など積極的に推進し、住民の内面的な流通を図っていくことが大切と思っております。鹿瀬に本館を置き、社会教育課長が館長を兼務し、他は非常勤の分館長で運営してお

集落会館の維持経費は

質問

町の公の施設の指定管理者制度の中の集落会館について伺う。この制度の内容は経費削減が大きな柱の一つだが、会館の維持経費はどうか。

通常経費は 区が負担

町長

住民サービスの向上や経費削減と云う制度導入の目的達成でなく、法律上管理委託ができてきたので、地元区を指定させて頂きました。管理にかかる費用負担は、高熱水道費や通常修繕費等は区の負担とし、屋根のふきかえや塗装等大規模改修等は町が負担します。

集会施設の買収は

質問

集落会館は上川以外、旧町村の施設だが、旧上川の集落会館は各区の所有であり、合併後町が所有するために実施に入ったが、進捗はどうか。

り、計画、実施に当たっては、社会教育委員、公民館運営審議委員との合同会議を開催し協議、運営しております。

活動支援としては、各種講座、教室の開催、文化団体や文化協会などへの助成、地域の講座などには、講師の謝礼や消耗品の支給をしており、今後も住民が自主的に開催していた、だくことを期待します。



これぞ地域のパワー

—石間地区運動会より—

町活性化の原点は 地域コミュニケーション活動にあり

再質問

今、都市部ではできない地域コミュニケーション活動も、我が町ではできる。是非やってほしい事業であります。

その大きな理由として、高齢化が進む地域だからこそ、皆んなが元気を出し、町を活性化させることです。またこれによって、次代を担うべき地域リーダーの育成ができ、将来、町の発展に大きな力になるものと信じます。

旧三川では、各集落毎に分館を設置し、活動費を村が助成、一部飲食費もあつたと思われませんが、これも活動を活性化させる栄養剤、注射の意味もあり、

地域主体の活動を 支援、助成

社会教育課長

官主導の活動に頼らざるを得ないのが実情で、各地域での自主企画という面では、活動が停滞している。館長報酬は受けていないので、条例上削除すべきと考えています。分館長には、それぞれの地区で努力いただいております。

町長

厳しい財政事業ではありませんが、皆さんが自ら活性化に向けて取り組む事業には、支援、助成して参ります。

(写真は、石間区長酒井橋一さんより提供いただきました)

価格を算定中

町長

町有化の状況ですが、現在対象施設の最終的な価格算定作業を行っており、終了次第区長に説明をし、ご理解ご協力を得た上で、今年度中に町財産として処理すべく進めている所です。

CATVは 住民の意向を

質問

ケーブルテレビで伺います前回の一般質問の中で100か所の住民説明会をやること云われたが終了したのか、反応はどうであったのか、この事業は大きいにもかかわらず、住民の意向を聞いておらず、事業展開と説明会を同時発進はおかしいと考えるがご所見を伺う。

導入には 温度差がある

町長

住民の意見を重視すべきと



集会施設兼除雪センター（日野川地区）

設置者と協議

町長

今後検討課題の一つと思っております。町内40施設の内他機関との調整が必要なのは15施設です。NHK、東北電力等ですが担当が出向き、難視聴対策、共同受信アンテナの撤去について、ケーブルテレビ整備についての支援を含め協議を行っているところであり

アンテナ撤去は 町負担か

質問

難視聴地区の共同アンテナ撤去費用を関係会社か町が負

担すべきであり、関係各社に対応されたか。



このままではきけん!!

猪俣 誠一 議員



町財政は健全か!!

伊藤 武一 議員

税算入は何%になるのか。

町長

人口減少にともない交付税の削減に拍車がかかり財政が危惧されている。町の財政は健全か、実質公債費比率は何%くらいであるのか。

町長

財政規模の脆弱な4町村が合併誕生したわけであり、合併の理由の一つには交付税の削減により町村の運営がきびしかった。合併による交付税算定上の補償と交付税財政措置を受けつつ、より広域的に効率のよい行政運営を行っています。町実質公債比率は16・6%となっている。

質問

総合事業計画の財源は、国庫支出金、県支出金起債、一般財源で執行されることにな

質問

従来は制度に代り指定管理者制度が導入されることになり9月2日以降から新制度となるが指定管理者制度の進捗状況はどうなっているのか。

町長

各々の集会所施設は別として温泉施設や観光施設について

指定管理者制度の進捗は

町長

従来は制度に代り指定管理者制度が導入されることになり9月2日以降から新制度となるが指定管理者制度の進捗状況はどうなっているのか。

町長

各々の集会所施設は別として温泉施設や観光施設について

住民の安全確保を

町長

6月末の豪雨災害時、住民への情報告知、本所・支所間の連携等に、住民の生命と財産を守るべき、町の義務が果たされていない事を痛切に感じた。また、職員にも災害時の対応要綱が理解されているとは思われない。町の防災対策および防災計画の進捗状況は。

町長

防災計画は、県地域防災計画に沿って策定を進めている。6月末の災害時には、完全な緊急体制が整ってなく、情報伝達に不手際があった。計画策定までの間、暫定的な緊急時の連絡体制を指示した。

町長

教育体制の充実を

質問

中学校統合には、校舎・体育館等施設整備や、通学路改

町長

教育体制の充実を

質問

中学校統合には、校舎・体育館等施設整備や、通学路改

町長

中学校統合には、校舎・体育館等施設整備や、通学路改

は、この協定の締結による成果や企業努力に期待しており効果を最大限に発揮するようをお願いするものである。三セク等の負債はどう処理して指定管理者に委譲するかと考えているのか伺う。

町長

多くの負債を抱え、株主として責任が問われております温泉施設のセクター三社を統合し併せて負債等の処理をしたいと思っております。今後、細部につきましては、施設ごと



町道（長木・広沢線）

長木・広沢間の除雪せよ

町長

長木・広沢間の町道の拡幅工事が完成しましたが、冬の間の除雪が行われておりません。旧町村時代は行政区の違いから津川町上川村の調整が困難の理由から除雪されませんでした。合併によりその弊害は除かれました。地域住民の生活道路の確保を考慮しておられるか尋ねる。

町長

昨年度は三種路線として対応しましたが、一種路線除雪後の余力を見て行う二種路線の格上げも考えられますことから、諸問題を調整し本年度の除雪計画を作成していくこととしておりますので、理解をお願い致します。



あぶない！林道新箕輪線（上川地区）

統合の課題は

町長

中学校統合に関する課題および進捗状況は。

町長

円滑な開校を図る

教育長

中学校統合推進会議と4専門委員会を設置し、12月定例会へ条例提案にむけ、精力的に進めている。

町長

確保等々を含め、課題はたくさんあるが、円滑な開校に全力を尽くす。

健康者の健康を守れ

町長

健康な高齢者が、健康なままで過ごせることは、重要なことである。冬季間の健康者の健康対策を住民福祉、生涯スポーツ両面から伺う。

学校開放で対応

教育長

社会体育の普及振興のため学校開放をしている。広報を通じ、利用を図る。

町長

町の高齢者間でゲートボールが盛んに行われており、冬季間も学校開放での利用ができるよう、利用者と相談しながら進める。

福祉基盤を整備

町長

健康老人対象の健康教室や筋力トレーニングなど、充実



学力向上と人材・福祉・公共投資は

齋藤 秀雄 議員

学力向上施策は

【質問】

学習指導センターを設置し、学力向上に努めてきたので、各学校間のレベル差は解消されてきました。

統合に向け今後の課題や環境整備はどのように考えているのか伺います。

成果を上げた学習指導

【町長】

学習指導センターの取り組みで児童・生徒の学力は少しずつではありますが向上してきました。今後はさらなる向上を目指し保護者の協力を得て取り組めます。

統合に向けての課題解決や学校環境整備は保護者や地域の皆様への責務だと考えています。

【教育長】

指導主事に適切な人材を配置し教師の指導力向上を支援し児童・生徒の学習意欲向上に努めます。

統合中学の生徒間交流事業



人件費の積算は妥当か？

宮川 弘 議員

福祉政策の一環としてシルバー人材センターの活用を

【質問】

同シルバー人材センターの平成17年度の決算によると、8、500万円以上の経済効果がでています。町との主な委託契約とその金額はどの位か。

【町長】

主に公用、公共施設の管理清掃業務、送迎バスの業務等約80件、契約金額は約3、120万円となっております。

【質問】

同センターの契約事業の多くは、人件費的なものが多いと思います。従って、事業費の減額が即賃金の値下げということとなります。予算を組む場合、どのように考慮して

いるか。

【町長】

委託業務のほとんどが人件費の経費ですので、担当所管課では、予算の範囲内で、必要最小限の予算を執行することになります。



ハーブの育苗 (ハーバルパーク)

【質問】

各課において、人件費の積算の整合性はとれているか。

【町長】

職種別に統一した単価で契約するのが望ましいと考えております。今後シルバー人材センターと町とで十分協議させていただきます。

委託会社の資格審査は充分か

【質問】

ここに、阿賀町斎場運転業務委託契約書があります。受託者が、有限会社波多野工業である。この会社の商業登記の全部証明を見ると、その目的欄に斎場運転管理というのが記載されていない。従って、この会社とは委託業務契約はできないはずですが。

【町長】

受託会社の事業目的に該当する項目が

見当りません。

人材派遣事業のような項目を加えるよう指導してゆきたい。

【質問】

民法第43条に法人は法令の規定に従い、定款または寄附行為によって決められた目的の範囲内において権利を有し義務を負う、とあります。契約する場合

【町長】

は、定款とか登記の全部証明書の書類を申請書に添付させて、契約先を調べる等作業手順が厳守されていますか。

【町長】

受託会社については、財政担当に指名願いを提出しており、契約前に書類の内容を精査の上、法令違反防止に務めてまいりたい。

【質問】

この契約書に、資格のある常駐者を置かなければならなくなっておりますが、その

【町長】

職員は、施設管理といいますが、状況把握のために行っております。

【町長】

人材派遣として、管理運営するためですので、ボイラーの免許で済むと思います。

【質問】

全て管理させて人材派遣という話はないでしょうか。

措置や給与体系見直しは考えていない。

公共投資施策は

【質問】

本町の産業構造から就業体系は極めて公共投資に依存しています。合併後の町づくりに期待を込めていますが、職員の行動力が不足に見えます。平成19年度予算編成にはまだしもかもしれませんが、いかがお考えか伺います。

PFI事業は考えていません。

【町長】

公共投資は積極的に導入を図っていきたいが財政の立て直しや健全財政を見据え新町建設計画や総合計画に基づいた事業予算の確保を図るよう努力してまいらなければと考えています。

【質問】

看護給与体系の見直しは

【町長】

看護職員採用には給与体系の見直しが必要ではありませんが、看護職員は大増強時期です、考えを伺います。

【町長】

看護職員確保のための特別

公共投資施策は必要不可欠

PFI事業は本町における公共施設整備を含む公共サービスの在り方を検討してまいりたいと考えている。



汚泥処理施設 (津川)

医療と福祉が定住の鍵



神田 八郎 議員

訪問診療には看護ステーションの充実が不可欠

去る8月3日に県立津川病院の吉嶺院長より「阿賀町における医療と福祉の現状と課題」との講演がありました。

- 伺います。
- (1) 町営訪問看護ステーションの進捗状況はどうか。
- (2) 旧各町村から県立津川病院までの足の確保は万全か。
- (3) 上川診療所の医師の確保はどうなっているか。

町営看護ステーションの充実を図っていきたい

町長

(1) 看護師を10月に1人採用し11月には看護ステーションをスタートしたい考えですが、議員の提言のように看護師枠をOBまで広げられるのか検討し、町営ステーションの充実を図ってまいります。

(2) 津川、鹿瀬、上川地区からは、田沢・八ツ田・雲和田・西各方面からと豊実・日出谷方面からそして大倉・小手茂・



訪問看護ステーション (津川)

阿賀町を世界一のモデルケースに

再質問

室谷・広谷方面から県立病院等へは定期的に福祉バスが運行しております。しかし提言の三川地区からは運行しておりませんので今後、担当課長と検討してまいります。

(3) 現在、医師の兼務で対応しておりますが、今後とも医師の確保に努めていきたいと思っております。

「本当の名医とは、病人を治すことはもちろん、病気に

ならないように助言、指導する人である」と思いますが、吉嶺院長は「日本で一番過疎化の進んでいる阿賀町を世界一のモデルケースの町にしましょう」と提言しております。ケーブルテレビの先進地である西会津町は同時に予防医療の先進地でもあります。再度浅野史郎氏の言葉を引用します「自分達の地域の強みは何なのか。山河の美しさか、情報公開などを促す住民パワーか。地域の人が当事者として血のにじむような苦勞、発想、行動した上で見きわめていくしかないのです」

町長

当町にも色々な温泉等がありますので、それらを利用した町民の健康づくり十分に取組んでまいります。

登記事務の効率化に一考を

質問

- (1) 登記事務の専門職員を養成すべきである。
- (2) 3人の嘱託員の勤務地を1か所にすべきである。

勤務地を1か所にしたい

町長

- (1) 登記事務に関しては専門知識の習得、育成に大変時間が必要で、今後、嘱託員体制を一層充実していきます。
- (2) 現在の各支所ごとに配置しております嘱託員の勤務地については今後1か所にしたいと考えます。また、各課で対応したものを今後は総務課管財係で集約し効率的に処理してまいります。
- (3) 現在、全体量を把握すべく調査中ですが、本年度中に登記未処理台帳を作成し、再測量等の予算措置も講じながら年次計画で処理します。
- (4) 登記嘱託員については専門的知識が必要ですので、解雇後半年度に再雇用も可能ですので空白期間ができないよう調整を図ってまいりたいと思っております。

自立支援 負担軽減を図れ



薄 巖 弥 議員

介護保険の矛盾 どう対応する

質問

4月から改定された介護保険法、各地で問題になっている一つは、これまでの「要介護1」の大部分にあたる介護度の軽い人達を新段階の「要支援1、2」として、別枠の「新予防給付」に移されることよって、受けられるサービスが限定されたことをはじめ、ケアプラン作成や介護報酬の面で、サービス切り捨てへの誘導のしくみが何重にも組み込まれたことです。町は今どういう体制で取り組まれていますか。

新予防給付への準備を進めている

町長

議員ご指摘のとおりケアマネ1人の標準担当件数が50件から35件に引き下げられ、報酬額も引き下げられております。新予防給付への移行も勘案しますと、現在17名のケアマ

ネがおりますが、今後2、3名の増員が必要です。

介護認定状況は、平成18年7月現在で経過的介護の方132人、要介護1の方300人となっており、平成19年4月からの新予防給付の場合、要支援1と2に移行する方が最大で200人ほど見込みです。

福祉用具の貸しはがしはやめて

質問

10月から軽度の人に対し、車いすや電動ベットなどの福祉用具を制限します。今より高い費用でレンタルするか、購入するか、利用をあきらめるか選択を迫られることとなります。

介護保険で適応できない人を町で助成していただきたい。

早急調査に 対応したい

町長

他の自治体もいろいろな措置をしているわけであり、早急に他の自治体を調査いた

障害者自立 支援負担 軽減を

質問

障害者の方4月から通所施設の場合これまで無料だった利用料負担が月2〜3万円(給食費を含む)に、在宅サービスの方も負担が大幅に増加しました。町も可能な限り負担軽減を図っていただきたい。

他の自治体の動向を見ながら対応する

町長

利用者負担が増えたことは確かであり、負担軽減措置については、早急に国・県、他の自治体の動向を見ながら対応していく考えです。



小子高齢化? (敬老会・三川地区)

では、現行水準を大幅に下回る事態になりかねないとの関係者のあいだで不安が広がっています。町の作業所には、今までと変わらない補助をしていただきたい。

町長

平成18年度は国の補助金が打ち切られたことにより町の補助金を増額して運営に対する支援を行ってまいります。

区長の意見・提言

湯ったりカードを利用しやすく!!

津川第二区長 長谷川 和 男

津川第二区は、200数軒の世帯があり、そのうち老盛一人暮らしの世帯は、約30数世帯となっており、このたび町当局の計らいで、健康と福祉の向上を図ることを目的と

した、町入浴施設8か所を利用して温泉水入浴券を発行して頂き嬉しく思っています。しかし入浴券を利用したくとも施設が遠くて行く事が困難な人がいますが、この皆さんにも利用して頂くため、町役場所有の小型バス等の貸与が可能であるならば少なくとも週一回程度の送迎を区独自で行い、その恩恵に浴して貰うように努めるため行政区交付金の使途を有効に活用したいと思ひ愚言を申し上げ、さらなる交付金制度の充実をお願いする者です。



あすなる荘 (上川)

は実川を去るにあたり「わするなよ万時峠のほととぎす」という有名な句を残している。近年は万治峠のトレッキングを楽しんだ人々が、周辺環境などと共に仙境の文化を楽しんでいる。

五十嵐家住宅 《鹿瀬編》

五十嵐家住宅は阿賀野川支流の実川沿いの山間に建つ山村農家で主屋は宝暦9年(1759)に建築された。

主屋と土蔵などの付属屋がそろい、これらの建物の建築年代が明らかで、後世の改造も少ないことなどが評価され、平成3年5月31日付けで、主屋・上手蔵・下手蔵の三棟が国の重要文化財に指定された。

小川芋 銭や安倍 能成など 多くの文 人墨客が 当家を訪 れ、芋銭



五十嵐邸(鹿瀬)

地域の伝統・文化

小瀬ヶ沢洞窟 《上川編》



小瀬ヶ沢洞窟

小瀬ヶ沢洞窟は、常浪川支流の室谷川左岸に位置し、流紋岩の崖面に生じた亀裂が利用された洞窟である。標高約200m、洞窟の規模は入口幅約1.5m、奥行約7m。昭和33、34年にかけて発掘調査が行われ、その結果、縄文時代「草創期」に値する土器群や尖頭器、石鏃、狩猟

具などの石器群が多量に出土された。特に石器群の中にはロシア・沿海州方面との関連が指摘されるものも含まれており、縄文文化の起源を明らかにする上で、重要な資料となっている。平成12年には、国の重要文化財に指定された。

若者たちに職場の確保を



新谷区長 安部 泰 栄

新谷区は新谷川上流に位置し、山に向かって右手に棒掛山から流れ落ちる「垂水の滝」は、春の雪解けと降雨の時期は大変雄大な滝となっており、新谷川へ流れ落ち絶景であり、左手には蘇場山の大変優雅な山並みが眺められ、麓では清流での釣りやキャンプの「キャニオンパーク」があり、新谷川沿いの農地では稲作が盛んで大変美味しい米ができる土地柄です。我が集落も高齢化が進み農業を離れる人も多くなっているものの、農業公社の若者たちが頑張ってくれている。用水の取水口がお粗末で毎年水害で被害が発生し人力での復旧も困難であることから役場のお世話になっておりますので、新設なり改良を引き続きお願いしていきたいと思っております。

今年旧三川地域で最後の下水道が共用開始となり、住環境も良くなり若い人も住める環境も整い喜んでおりますが、職場の確保も考えて頂きたいと念願しております。昔を紐解けば三川鉱山、営林署がなくなった今、多くの森林に囲まれた阿賀町として、森林資源を活かした産業の創出を考えて頂きたい。また、私も含め高齢化が進み、超「元気」とはいかないまでも皆で助け合い、少し元気で和やかな集落をと願っています。



新米の調整 (三川農業公社)